

花壇展

よこはま花と緑のスプリングフェア

60回記念誌
1963～2023





花壇展とは

花壇展は、東京オリンピックの開催を翌年に控え、横浜市の「花いっぱい運動」の取組の一つとして「ヨコハマ花壇展」が開催されたのが始まりです。市内の造園会社や花卉生産団体が一体となり、観光客でにぎわう山下公園で昭和38(1963)年に第1回目が開催されました。

現在では、横浜市が推進するガーデンシティ横浜のリーディングプロジェクト「ガーデンネックレス横浜」の主要なイベント「よこはま花と緑の春フェア」の一環として開催され、令和5(2023)年に、開催60回目を迎えました。

今後も2027年国際園芸博覧会開催に向けて、機運醸成に取り組んでまいります。

目次

Agenda

- 03 横浜市長 ご挨拶
- 04 公益財団法人
横浜市緑の協会
理事長 挨拶
- 05 一般社団法人
横浜市造園協会
会長 挨拶
- 06 公益社団法人2027年
国際園芸博覧会協会
事務総長 ご挨拶
- 07 花壇展2023
60th Anniversary
- 15 花壇展60years
- 19 花壇展開催のながれ
- 21 花壇展参加企業
- 53 2027年国際園芸博覧会
広報花壇



横浜市長 山中 竹春
Yamanaka Takeharu

「花壇展」が60回の開催を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

今や横浜の春の風物詩となった花壇展は、東京オリンピック前年の1963年に、「花いっぱい運動」の一環としてスタートしました。高度経済成長期から今日まで、山下公園等で60年に渡り継続的に開催され、本市の花と緑の街づくりや緑化の普及啓発はもちろん、2017年の全国都市緑化よこはまフェアの成功にも大きく寄与されました。そして、花壇展は現在、市民の皆様をはじめ、横浜を訪れる多くの皆様が花と緑に親しみ

楽しめる大切な存在となっています。

2027年には、横浜で初めての万博となる国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」を開催します。花や緑を愛する皆様とご一緒に育て、分かち合う万博にしたいと考えています。是非お力添えいただきたくお願いいたします。

結びに、長年にわたり花壇展の開催にご尽力いただいているご関係の皆様にご感謝申し上げますとともに、花壇展が、これからも末永く市民の皆様にご愛され続けることを祈念いたします。



公益財団法人 横浜市緑の協会
理事長 橋本 健
Hashimoto Ken

毎年春開催のよこはま花と緑の春のフェアの中で、春の訪れとともに素晴らしい花壇をお楽しみいただいている花壇展は、昭和38(1963)年から行われ今年で60回目を迎えました。これだけの長い期間続けてこられたことは、横浜市造園協会様および会員の皆様と、横浜農業協同組合様のご協力の賜物であり、その努力に敬意を表します。この度、その継続の記念として60回記念誌を発行することとなりました。

振り返りますと、2017年に行われました全国都市緑化よこはまフェア(※P28)では、港を背景とした横浜の街を沢山の多彩な花で彩り、また郊外の里山ガーデンでは「横浜の花で彩る大花壇」が作られ、市内外から600万人もの多くの方々がお来場されました。横浜が横浜市造園協会会員の皆様のご協力と花と緑であふれ、大成功をおさめました。

その全国都市緑化よこはまフェアから続いている、横浜の花と緑の取り組みである「ガーデンネックレス横浜」においても、市民・企業・団体の皆様との連携により、横浜が

花と緑あふれる街へと変わってきたとの声を聞くようになりました。

最近の山下公園での花壇展においても、様々な工夫が凝らされた独自性のある意欲的な花壇が増えてくるなど、更に磨かれた高い技術力が十二分に発揮されているように感じます。

全国各地で開催される毎年の全国都市緑化フェアにおいても、人気投票で横浜市の出展花壇は上位にランキングされるなど、全国的にも横浜の技術力の高さが広まりつつあります。

2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)では、市民の皆様をはじめ多くの方々、美しい花や緑と出会うことを心待ちにされていることと存じます。開催地横浜の皆様のご高度な技術力と豊富な経験を存分に生かして、世界中の人々に感動を届けましょう。

最後に60回記念誌発行にあたり、ご協力をいただいた方々に感謝申し上げます。



一般社団法人 横浜市造園協会

会長 田澤 重幸

Tazawa Shigeyuki

東京オリンピックの前年昭和38(1963)年に始まった花壇展は、令和5(2023)年、第60回を開催することができました。横浜市、横浜市緑の協会及び出展していただいた横浜農業協同組合、横浜市造園協会の会員の皆様方に心より感謝申し上げます。

振り返りますと令和2(2020)年の第57回につきましては新型コロナ感染防止のため「緊急事態宣言」が発令され、花壇は設営できましたが、花壇展が中止となり花壇コンクールは実施できませんでした。

春の風物詩となった山下公園の花壇展は、多くの方々に楽しんで頂いております。開催当初の作品は、草花の種類も限られ平面的な刺繍花壇が多かった

のですが、年々技術も向上するとともに草花の種類や彩りも豊富になり、草花以外の材料も取り入れた立体的な花壇が多くみられようになりました。

また、出展される各社の入賞を目指して作成する意気込みも強く感じられ、コンクールの審査時には甲乙つけがたい素晴らしい作品に審査委員一同採点に頭を悩ませております。今後とも花壇展で多くの方々に癒しや草花のすばらしさをお伝えできるように努力してまいります。

2027年には上瀬谷で横浜国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)が開催されます。花壇展で培った技術をお披露目できるように更に技術の研鑽に努めてまいります。



公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

事務総長 河村 正人

Komura Masato

横浜花壇展の60回の開催、誠にありがとうございます。私も毎年「よこはま花と緑のスプリングフェア」で皆様方が精魂込めて造られた花壇を拝見し、横浜の春の訪れを感じるとともに温かい気持ちにさせていただいております。

さて、当協会では、1990年の「大阪花の万博」以来37年ぶりとなる最上位クラスの園芸博「GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)」の開催準備を進めています。テーマは「幸せを創る明日の風景」で、緑へのまなざしの変化しつつあるなかで、自然

環境が持つ多様な機能を活かした持続可能な街と暮らしの風景を、横浜・上瀬谷の自然の中に可視化するグリーン万博を皆様とともに創り、明日に向けた友好と平和のメッセージとして、日本に、そして世界に発信したいと思えます。

長きにわたり横浜市民の花を愛でる文化や心に潤いを与え続けてきた横浜花壇展の60回開催を心よりお祝い申し上げます。

花壇展 2023



第60回を迎えた花壇展では、一般社団法人横浜市造園協会および横浜農業協同組合の協力を得て、趣向を凝らした彩り豊かな花壇が21区画で展示されました。

= 第60回花壇展 =

開催期間 2023年4月7日(金)～
5月7日(日)31日間

開催場所 山下公園

来場者数 13万4千人



花壇展 2023



株式会社 田澤園 (「花」で広がる暮らしの風景)



横浜緑地 株式会社 (Flower Party)



赤坂造園 有限会社 (いそどりタイマー)



大光造園建設 株式会社 (憩いのひと時)



横浜農業協同組合 (調和)



株式会社 濱田園 (棚田の春)



株式会社 みやした園芸 (郷愁)



小島造園 株式会社 (春花)



来場者の皆様がお気に入りの花壇に投票する市民投票では、最高投票数を獲得した花壇に「市民賞」が贈られました。

また、展示花壇を対象とした花壇コンクールでは、花壇展審査委員会によって「横浜市長賞」「公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会賞」ほか6つの賞が決定しました。

市民投票 4月7日(金)～9日(日)

応募総数 1435票(1位381票:市民賞)



市民投票の様子



株式会社 佐藤造園

峰河(さんが)



日光緑化建設 株式会社

平和への願い



有限会社 関水商事

世界に一つだけの花



株式会社 大和園

THE LAST Rockgardens



株式会社 緑心園

ラブグリーン ラブフラワー



有限会社 増田園

フラワーランド



堀江造園 株式会社

平和を望む風



有限会社 ウィステリアグリーン

ともしび



生駒植木 株式会社

ラブ♡ヨコハマ



石山造園 株式会社

あやめの里



株式会社 横浜緑化

風車～しあわせの輪～



株式会社 港南植木ガーデン

花の街



株式会社 倉本造園

陽春

花壇展 60 years

創世期

第1回 1963年(昭和38年)～第10回 1972年(昭和47年)



1963年(昭和38年)5/5～12
山下公園 11点

- 東京オリンピック開催を翌年に控え、横浜市の「花いっぱい運動」の一環として開催
- 市内の造園業界や花き生産団体が一体となって、実施
- 国内外の観光客でにぎわう山下公園のサンクガーデンに展示

第4回 1966年(昭和41年)
5/1～5/8

- 港まつりの行事の先陣を切って開催、花壇のサイズは15㎡



1971年(昭和46年)4/29～5/23
山下公園30点

- 庭園式花壇、空中ブランコ式花壇などが紹介される。

第6回 1968年(昭和43年)
4/28～山下公園11点

- 緑化技術の向上を図るため、花壇コンクールを継続



第5回 1967年(昭和42年)4/29～5/14
山下公園(中央部)16点

- 花壇コンクール開始
- 浅草仲店等の花壇コンクールに市内造園業者が参加したのがきっかけ
- 金、銀、銅、佳作、市民賞の決定



1964年(昭和39年)5/3～10
山下公園 11点

- 港まつりの行事の一つとして位置づけ、実施



1970年(昭和45年)4/29～
山下公園

- 花壇コンクールの審査会の開催

第Ⅱ期

第11回 1973年(昭和48年)～ 第20回 1982年(昭和57年)



1974年(昭和49年)4/29～5/12
山下公園 24点

- 初夏のヨコハマを彩る花壇展
- 造園の腕競う
- テッポウユリ、キンセンカ、フジ、キクを使用

第14回 1976年(昭和51年)
4/29～5/13 山下公園23点

- 「花と木の緑でうめようハマの町」をキャッチフーズに開催
- 横浜市の花と緑の月間行事第10回目
- ペコニア、ツツジ、マーガレット等の庭、築山、枯れ木の庭園風のものまで様々

第13回 1975年(昭和50年)
4/26～5/11 山下公園23点

- 横浜市の花と緑の月間行事のトップを飾る「花壇展」
- 趣向を競う
- 自然の山のミニチュア版など華やかなムードがいっぱい



1977年(昭和52年)4/29～5/15
山下公園 26点

- 庭園風より草花を主体にした花壇風のもの
- 市民投票が行われる



1980年(昭和55年)4/29～5/11
山下公園23点

- シバザクラ、アルメリア、ロベリアなどの花が登場
- ドラムかん、古タイヤの鉢を中心に据え、廃棄物利用の花壇がお目見え、人気を集めた

第16回 1978年(昭和53年)
4/29～5/14 山下公園27点

- ペチュニア、マリーゴールド、ゼラニウムなどの花が利用される
- 煉瓦、竹垣、白砂をあしらひ、立体的な花壇も登場
- 市民投票で、優秀賞が決定される

第19回 1981年(昭和56年)
4/29～5/10 山下公園20点

- 奨励賞の設置
- ミスヨコハマや専門家による審査、市民による市民賞



1979年(昭和54年)4/29～5/13
山下公園 22点

- 石や竹をあしらひ「さすがは本職」とため息がもれる
- 公開審査で優秀賞を決定。

第Ⅲ期

第21回 1983年(昭和58年)～ 第30回 1992年(平成4年)

第22回 1984年(昭和59年) 山下公園
●「よこはま花と緑の春フェア」の関連行事として位置づけられる

第24回 1986年(昭和61年)
山下公園

- 賞の名前を市長賞、市会議長賞、協会理事長賞、運営委員会賞に変更
- 春フェアの事務局が(財)横浜市緑の協会となる

第23回 1985年(昭和60年)
横浜公園

- 会場を横浜公園として実施
- 賞を市民の投票で決定
- 賞の名前を市民賞1位、2位、3位に変更



1991年(平成3年) 山下公園

- 第29回ヨコハマ花壇展の発刊(横浜市緑の協会)
- 花壇デザインの募集とその花壇の設置(一般、中学生、小学生の部)
- ワスレナグサ、シャスターデージー、アゲラタム、パンジー等の花が多用される



1987年(昭和62年) 山下公園

- 25周年記念誌発刊
- 市民からデザインを募集し、こどもの部および一般の部として花壇を設置
- 25年を振り返る座談会の実施
- 35点もの花壇の力作が並ぶ



1992年(平成4年) 山下公園
グリーントピア'92という副題をつけて開催

- ヨコハマ花壇展が「よこはま花と緑の春フェア」として、スタートをきる。
- この新たな船出を祝い、舵を操る操舵輪をイメージした記念花壇を横浜市が作成
- ミニ庭園展が開催される
- ファミリーによって製作されたほのぼのとして花壇作品が展示される

花壇展 60 years

第Ⅳ期

第31回 1993年(平成5年)～第40回 2002年(昭和平成14年)

Check

第33回

1995年(平成7年)
山下公園

- 第33回では、ミニ庭園の部において市民賞を獲得
- シンボル花壇が設置される



第33回 ミニ庭園市民賞

第36回 1998年(平成10年)

大通り公園

開催場所が大通り公園に移る

- 横浜橋商店街協同組合と協賛し、ミニ緑日などお楽しみの要素が加わる。
- 森のめくみコーナーや動物ふれあいコーナーなど多様な企画が盛りたくさん。

1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007

第32回 1994年(平成6年)

山下公園

- 会場が山下公園の噴水より北側に移る
- 市民の制作による「みんなで花壇」の部ができ、19作品が並べられる

Check

第34回



第34回ちびっこデザインシンボル花壇

1996年(平成8年)4/17～5/6
山下公園

- ちびっ子緑の推進隊によるいつも心に緑の輪というシンボル花壇が設置される

第37回 1999年(平成11年)

大通り公園

- 環境問題が取り上げられるようになり、地球に優しいエコカーの展示もされる
- 大通り公園会場では、日枝小学校生徒によるマーチングバンド演奏あり

Check

第40回



第40回 FIFAサッカー花壇

2002年(平成14年)
大通り公園

- FIFAワールドカップの花壇もお目見え、PRIに役買う

第Ⅴ期

第41回 2003年(平成15年)～第50回 2012年(平成24年)

Check

第41回

2003年(平成15年)4/15～4/29
大通り公園

- 市民参加の樽を使った「ちっちゃい花壇」展が始まる
- 森の恵みコーナーは、横浜公園に移って継続開催する



第41回 横浜市長賞・市民賞作品

第42回 2004年(平成16年)

大通り公園

- ミニ庭園展は42回で終了となる

第43回 2005年(平成17年)

4/15～4/29 山下公園

- 第43回から開催場所が山下公園にもどる

第47回 2009年(平成21年)

山下公園

- 「ちっちゃい花壇」が年々増え、60点にも及ぶ
- 開港150周年記念として、よこはま緑の推進団体が「ウェルカム花壇」を設置

2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023

第44回 2006年(平成18年)

山下公園

- 横浜市の「150万植樹行動」が始まり、第45回からPRをかねて、苗木配布を行う
- 横浜市の花「バラ」を紹介するコーナーを設け、写真展示や山下公園でのバラガイドツアーを行う
- 運営委員会会長が緑の協会理事長となる

Check

第48回



第48回 横浜市長賞作品

2010年(平成22年)
山下公園

第49回 2011年(平成23年)

山下公園

- 「東北地方太平洋沖地震」被災地支援として開催

Check

第50回



2012年(平成24年)
山下公園

- 花壇展会場に「花壇展50年のあゆみ」のパネルを展示しました。

第Ⅵ期

第51回 2013年(平成25年)～第60回 2023年(令和5年)

Check

第51回



2013年(平成25年) 山下公園

- 山下公園ファミリー写真大会(4/28(日開催))を後援しました。花壇の前は大勢のファミリーでにぎわい、花壇展のPRにもなりました。

Check

第59回



2022年(令和4年) 山下公園

- 表彰式を「横浜ローズウィーク」に合わせて、横浜市役所アトリウムで開催

Check

第56回



2019年(平成31年) 山下公園

- ガーデンネックレス横浜のマスクットキャラクター「ガーデンベア」の頭部を模したフラワーアフロを貸し出し、花壇を背景に記念撮影をお楽しみいただきました。

第33回全国都市緑化よこはまフェアのため未開催

Check

第57回



2020年(令和2年) 山下公園
開催中止

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言発令のため。

Check

第58回



2021年(令和3年) 山下公園

- 表彰式を手山西洋館ペーリックホールにて開催

Check

第60回



2023年(令和5年) 山下公園

- 2027年に開催される国際園芸博覧会の機運醸成のため、「2027年国際園芸博覧会協会賞」を設置。また、スマートフォンを使用して市民投票ができるようになりました。

当日の様子



② 設営 (開催日の4日前から)

出展社を3グループに分けて、設営を行います。安全に考慮しながら迅速に効率よく行われます。

約6~8時間
かけて完成!



④ 花壇展審査会 (4月中旬)

6名の審査委員による審査会が開かれ、市長賞など8つの賞が決まります。賞決定後は、会場花壇に各賞の看板が設置されます。



⑤ 撤去 (5月上旬)

2グループに分けて、行きます。撤去作業の車や重機が込み合う中、設営と同様に安全面に配慮しながら迅速に行います。

雨の日は大変!



花壇展開催のながれ



① 出展社説明会

開催日の4日前から

② 設営

花壇展開催!

START

③ 市民投票

4月上旬

④ 審査会

4月中旬

END

⑤ 撤去

5月上旬

⑥ 表彰式

5月中旬

③ 市民投票 (4月上旬)

花壇展開催初日から3日間は、横浜公園、日本大通り、山下公園の3会場で花と緑に彩られ「よこはま花と緑の春フェア」が開催されます。春フェア期間中に来場者による市民投票を行い、一位の花壇には、「市民賞」が授与されます。2023年からはスマートフォンによる投票を導入し、幅広い年齢層から票を獲得しました。



⑥ 表彰式 (5月中旬)

2022・2023年は横浜市役所アトリウムにて、ローズフェア期間中に開催されました。一般の方も見学することができ、華やかな雰囲気の中おこなわれました。

- 備考:賞の種類
- ・市長賞
 - ・横浜市会議長賞
 - ・(公社)2027年国際園芸博覧会協会賞
 - ・横浜市環境創造局長賞
 - ・(公財)横浜緑の協会理事長賞
 - ・(一社)横浜市造園協会会長賞
 - ・神奈川新聞社賞
 - ・みどりアップ奨励賞
 - ・市民賞(市民投票により決定)

※2027年の国際園芸博覧会の機運醸成を高めることを目的として、2023年から新たに「(公社)2027年国際園芸博覧会協会賞」が設けられました。



表彰式の様子

花壇展 参加企業

第1回花壇展は
1963年（昭和38年）に開催されました。
この時の横浜市造園協会（の前身組織）の構成数は
僅か7社からスタートしました。



相原造園土木 株式会社

横浜市長賞 受賞

〒246-0026
瀬谷区阿久和南2-16-3
TEL: 364-7111
FAX: 364-7103
mail: info@aiharazouen.co.jp
http://www.aiharazouen.co.jp



「春風の通り道」(2015)



「植物のパワー」(2019)

赤坂造園 有限会社

〒241-0021
旭区鶴ヶ峰本町1-35-12
TEL: 951-1799
FAX: 953-7867
mail: akasakaz@eagle.ocn.ne.jp



アライグリーン 株式会社

横浜市長賞・市民賞 受賞

〒234-0055
港南区日野南4-3-5
TEL: 844-5528
FAX: 844-5539
mail: arai-green@yahoo.co.jp
http://www.arai-green.com



「ワクワク kids ランド Oh! Fantastic!!」(2019)

生駒植木 株式会社

〒244-0004
 戸塚区小雀町1805
 TEL: 851-1805
 FAX: 852-6068
 mail: matsu-tora@ikoma-ueki.co.jp
 https://www.ikoma-ueki.co.jp



「オリンピックがやってくる!!」(2019)

株式会社 石正造園土木

〒225-0002
 青葉区美しが丘5-24-14
 TEL: 901-9546
 FAX: 903-2543
 mail: info@ishishyou.com



「飛翔」(2020)



「思い出の道」(2015)



生駒造園土木 株式会社

横浜市環境創造局長賞・
 市民賞 受賞

〒244-0004
 戸塚区小雀町1956-1
 TEL: 852-4891
 FAX: 851-9281
 mail: info@ikoma-zouen.co.jp
 http://www.ikoma-zouen.co.jp



石井造園 株式会社

(公財) 横浜市緑の協会
 理事長賞 受賞

〒247-0006
 栄区笠間4-11-5
 TEL: 891-1501
 FAX: 891-2785
 mail: ishii@ishii-zouen.co.jp
 http://www.ishii-zouen.co.jp



「スプリングツリー」(2015)

コラム 01



山下公園

例年花壇展の会場と
 なっている山下公園とは

風致公園、公開面積 74,121㎡、所在地 中区山下町279

昭和5(1930)年3月に開園した山下公園は、横浜の公園の中で一番知られているといってもよいでしょう。関東大震災の復興事業として市内の瓦礫などを大正14年から4年がかりで埋立て、上部を良質な土で覆土して造成が行われ、公園の基本的な形ができあがりました。当時は、現在のバラ園のある沈床花壇の部分が船溜まりになっていました。

平成29(2017)年の第33回全国都市緑化よこ

はまフェアにあわせて再整備したバラ園は、つるバラやスタンダード仕立てのバラにより、立体的で多様なバラの演出が楽しめます。＜未来のバラ園＞として、来園された方々にご自宅でもバラを楽しんでもらえるよう、病虫害に強いバラを採用し、維持管理が行いやすいバラ園を目指しています。

＜バラの種類と本数＞約160種1,900株

(横浜市ホームページから抜粋)



石山造園 株式会社

横浜市長賞 受賞

〒241-0823
旭区善部町32-12
TEL:363-1333
FAX:363-1304
mail:ishiyama@ishiyama-zouen.com



「高原の花園」(2014)



有限会社
ウイステリアグリーン

横浜市会議長賞 受賞

〒241-0803
旭区川井本町99-9
TEL:959-3100
FAX:959-3101
mail:saichi@wis-g.com



「春の贈り物」(2018)



「春の碧」(2012)



井原造園 株式会社

(公財) 横浜市緑の協会
理事長賞 受賞

〒221-0863
神奈川区羽沢町1198
TEL:383-2721
FAX:383-2726
mail:ihara-z@iharazouen.co.jp



「ミラー」(2013)



株式会社 植勘

横浜市会議長賞・
市民賞 受賞

〒220-0035
西区霞ヶ丘59
TEL:231-3183
FAX:231-9729
mail:info@uekan.co.jp
<https://www.uekan.co.jp>



「願い」(2021)

岩崎造園 株式会社

〒224-0014
都筑区牛久保東1-12-10
TEL:591-3952
FAX:593-5289
mail:
iwakizoen.kk@proof.ocn.ne.jp
<https://www.iwakizouen.co.jp>



株式会社
植宗エクステリア

横浜市会議長賞 受賞

〒221-0863
神奈川区羽沢町821
TEL:442-3795
FAX:442-3796
mail:koukyo@uesouex.com
<http://www.uesouex.com>



「横濱の波止場から」(2015)



有限会社
エムテックグリーン

(一社)横浜市造園協会
会長賞 受賞

〒233-0013
港南区丸山台2-26-15
TEL:845-2539
FAX:845-9824
mail:info@mtgreen.co.jp
https://mtgreen.co.jp/



「Reuse Garden」(2022)

金子園芸 株式会社

〒247-0005
栄区桂町6-30
TEL:892-4337
FAX:892-4910
mail:kanekoengei@abeam.ocn.ne.jp
https://www.kaneko-engei.com/



「山笑う」(2020)



「花壇のある暮らし inYOKOHAMA」(2021)

株式会社 貝塚造園

〒224-0033
都筑区茅ヶ崎東2-12-8
TEL:941-2318
FAX:941-9193
mail:kaizuka@sound.ocn.ne.jp
https://www.kaizukazouen.com/



コラム 02



第33回全国都市緑化
よこはまフェア

このイベントを
きっかけに横浜が
花と緑で
いっぱいになる

開催期間:平成29(2017)年3月25日~6月4日、72日間

横浜市と公益財団法人都市緑化機構が主催した緑化行事。愛称を「ガーデンネックレス横浜2017」として会場を横浜市内で広く展開しました。

【みなとガーデン】山下公園、グランモール公園、港の見える丘公園、横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク、新港中央広場、運河パーク

【里山ガーデン】横浜動物の森公園 植物公園予定地(よこはま動物園ズーラシア隣接地)

と大きく2方面に展開し、花や緑が「ネックレス」のように、まち、人、時をつなぎ美しい横浜を表現しました。

(横浜市、公益財団法人都市緑化機構の資料から)

株式会社
金沢臨海サービス

〒236-0012
金沢区柴町391-7
TEL:785-3525
FAX:783-3151
mail:krs-desk@kanazawarinkaisv.co.jp
https://krsv.jp/



「山小屋の春」(2020)

株式会社 環境造園

〒221-0863
 神奈川県羽沢町1119-19
 TEL:459-9955
 FAX:459-9977
 mail:info@kankyo-z.com
 https://kankyo-z.com



「新しい未来に」(2019)

株式会社 倉本造園

〒225-0002
 青葉区美しが丘4-17-10
 TEL:901-3562
 FAX:902-9416
 mail:kuramotozoe@themis.ocn.ne.jp



「平和」(2022)



「春の輝き」(2019)



株式会社 きたむら園

横浜市環境創造局長賞 受賞

〒245-0065
 戸塚区東俣野町1231
 TEL:851-5566
 FAX:851-2828
 mail:kitamuraenn@muf.biglobe.ne.jp
 http://www.kitamura-en.com



株式会社 錦光園

横浜市環境創造局長賞・
 花壇展 50 回記念賞 受賞

〒224-0025
 都筑区早淵1-25-38
 TEL:592-5217
 FAX:591-0720
 mail:kinkoen1128f3@ninus.ocn.ne.jp



「ある情景」(2012)

コラム 03

花壇展審査会よもやま話

ここ数十年、花壇展審査会は山下公園に隣接する会議室で行われています。

最初に室内で採点方法などに関する説明の後、屋外で実際に花壇を見ながら採点を行います。審査中は花壇の制作会社名は隠され、デザインや植栽技術について評価されます。

採点終了後、会議室に戻り各審査員の合計点数で花壇の順位を決定しますが、毎年のように同点が発生し再審議となります。同点の花壇が多いほど審査は難航し、なかなか決まりません。

それぞれの花壇が、僅差での競争となるため、毎回審査員の面々は頭を悩ませています。



審査委員からの
 Message

花壇展審査に寄せて

60回にも及ぶ横浜花壇展は、歴史的にも、また、全国的にも貴重な取組であり、ここに至るまでの関係者の皆様のご苦勞、ご尽力に敬意を表します。

山下公園と港を背景に展示される花壇展は、横浜に春の彩を添える風物詩の一つになっているのではないのでしょうか。年々技術力も向上し、配色やデザインなど創意工夫に満ちた素晴らしい作品群となっています。限られた空間の中で、いかにボリューム感を持たせるか、テーマを具現するか、などそれぞれの作品に努力の跡が感じられます。楽しい作品にまたお会いできることを楽しみにしています。



公益財団法人都市緑化機構
 専務理事 柳野 良明
 Nagino Yoshiaki



株式会社 グリーンケア

(公財) 横浜市緑の協会
理事長賞 受賞

〒230-0076
鶴見区馬場4-1-3
TEL: 584-5701
FAX: 584-6346
mail: info@green-care.com
http://www.green-care.com



「横浜 パラストーリー ROSE CITY YOKOHAMA」(2022)

小島造園 株式会社

〒246-0004
瀬谷区中屋敷2-31-4
TEL: 301-6066
FAX: 301-6105
mail: kg4128@kojimazoen.co.jp
http://www.kojimazoen.co.jp



「春のビスタ (眺望)」(2020)



「ハーバーナイト・みなとみらい」(2022)

株式会社 港南植木ガーデン

〒233-0003
港南区港南3-15-6
TEL: 844-1128
FAX: 843-1367
mail: info@kounanueki-g.co.jp
http://kounanueki-g.co.jp/



「大空に羽ばたけ」(2021)

株式会社 小菅造園

〒245-0001
泉区池の谷4036
TEL: 814-4758
FAX: 814-4758
mail: kosuge-z@yc.catv-yokohama.ne.jp
http://home.catv-yokohama.ne.jp/hv/kosuge-z/index.html/



株式会社 港南北見緑化

〒236-0052
金沢区富岡西7-39-1
TEL: 778-6270
FAX: 778-6271
mail: stage02@konan-ktm.co.jp



「再生」(2020)

株式会社 小林園

〒246-0026
瀬谷区阿久和南2-17-2
TEL: 361-1957
FAX: 391-1273
mail: kobayashien@sunny.ocn.ne.jp



「ごはんができたよ」(2020)



サカタのタネ
グリーンサービス
株式会社

神奈川新聞社賞 受賞

〒224-0041
都筑区仲町台3-5-7
第3セキビル
TEL:945-8828
FAX:945-8829
mail:landscape@sakata-seed.co.jp
http://www.sakata-greenservice.co.jp



「花香る時間」(2015)



株式会社 佐藤造園

神奈川新聞社賞 受賞

〒221-0864
神奈川区菅田町47
TEL:472-6408
FAX:471-0165
satozoe@chive.ocn.ne.jp
https://sato-zoen.jp



「調和」(2019)



「春が来た! 春が来た!」(2022)



櫻井造園土木 株式会社

みどりアップ奨励賞 受賞

〒241-0816
旭区笹野台1-29-7
TEL:954-2299
FAX:954-4380
mail:info@sakurai-zouen.co.jp
http://www.sakurai-zouen.co.jp



「輪廻」(2018)



株式会社 春峰園

みどりアップ奨励賞 受賞

〒236-0042
金沢区釜利谷東8-3-20
TEL:783-8009
FAX:783-8019
mail:info@shunpoen.co.jp
https://www.shunpoen.co.jp



株式会社 笹山植木

みどりアップ奨励賞 受賞

〒240-0051
保土ヶ谷区上菅田町1197
TEL:381-0154
FAX:381-9007
mail:info@sasayamaueki.co.jp



「風と花」(2012)



株式会社 新正園

〒221-0864
 神奈川県菅田町1000
 TEL:471-6808
 FAX:471-7550
 mail:k_shinshoen@shinshoen.co.jp



「夢の浮橋」(2020)

株式会社 誠和緑化

〒232-0066
 南区六ッ川2-91-18
 TEL:712-0171
 FAX:731-8823
 mail:ishida@e-seiwa.co.jp
 http://www.e-seiwa.co.jp



「ハマの宇宙(ソラ)」(2019)



「宇宙空間の創造」(2014)



株式会社 杉本造園

神奈川新聞社賞 受賞

〒230-0075
 鶴見区上の宮1-28-15
 TEL:581-9325
 FAX:581-4741
 mail:sugimoto-zouen@sugimoto-zouen.co.jp
 http://www.sugimoto-zouen.co.jp



株式会社 鈴木緑化園

〒220-0035
 西区薮ヶ丘61-3
 TEL:262-9197
 FAX:711-7397
 mail:toshi.sr@ked.biglobe.ne.jp



「里山の春」(2022)

コラム 04

花壇展現場管理の
 櫻井造園土木(株) 峯苔さんに聞きました



現場管理の業務は、出展社説明会から始まり、開催現場での花壇の位置だし、工事車両の誘導など監督となって出展社のサポートを行います。また、イベント期間中は、美しい花壇を保つために散水や花から摘みなどの維持管理を行います。その他にも警備員の手配や公園管理事務所との調整、開催終了後は撤去や原状回復など、業務は多岐にわたります。出展社や来園者には心強いサポーターです。

Q.大変だったこと

A. 私が管理を始めたのは、20年位前からになります。当時開催は大通り公園でしたが、その後、石の広場、山下公園、象の鼻、そして現在は山下公園に戻りました。花壇の設置及び撤去後の復旧など場所によって検討する内容が異なる点や、運営管理は天候に左右されるので対応には苦労しました。開催期間も長期になる為、約20個の花壇の状態をできる限り綺麗な状態で来園者の方々に見て頂ける様、日々、花壇の状態を確認していました。悪天候の時の養生など状況に応じた対応も大変で特に、風速は要注意で常に確認をしていました。売店のテントが飛ばされそうになった事もありました。

Q.ビックリした出来事

A. 今ではあまり考えられませんが、花壇の花苗を盗まれたり花壇内の野菜(パセリ・筍)を食べられたりした事もありました。

Q.花壇展60回を迎えて

A. 60回を迎えられた花壇展おめでとうございます。来園者の方々は、リピーターの方もいらっしゃいますがまったく花壇展を知らなくてたまに公園に来たら開催されていて見られた方も結構いらっしゃいます。今はSNSでの発信等になるのでしょうか?どんな形でも、もっとアピール出来ればいいですね。



櫻井造園土木株式会社
 峯苔 真寿美
 Minetoma Masumi

有限会社 関水商事

〒241-0806
 旭区下川井町2295
 TEL: 951-4390
 FAX: 952-5588
 mail: u-one.no1@tea.ocn.ne.jp



「浜辺」(2022)

大光造園建設 株式会社

〒236-0051
 金沢区富岡東1-29-3
 TEL: 776-3355
 FAX: 776-2606
 mail: info@daikozoen.co.jp
 https://www.daikozoen.co.jp



「白と緑のやすらぎ」(2019)



「旗印 (はたじるし)」(2012)



株式会社 センリョク
 横浜市会議長賞 受賞

〒231-0861
 中区元町2-80
 TEL: 681-5578
 FAX: 664-4621
 mail: info@dsrk.co.jp
 https://www.dsrk.co.jp



「春香」(2022)



株式会社 泰山園
 神奈川新聞社賞 受賞

〒241-0002
 旭区上白根1257-16
 TEL: 951-2574
 FAX: 955-2889
 mail: info@taisanen.co.jp
 http://www.taisanen.co.jp



相武造園土木 株式会社

〒221-0863
 神奈川区羽沢町1562
 TEL: 381-3153
 FAX: 381-9179
 mail: soubu-zouen@gaea.ocn.ne.jp
 http://www.soubuzouen.com



「夢」(2022)



株式会社 滝川園
 横浜市長賞・市民賞 受賞

〒230-0075
 鶴見区上の宮1-3-10
 TEL: 575-6440
 FAX: 572-6100
 mail: mail@takigawaen.co.jp



「メルヘンロード」(2018)

田口園芸 株式会社

〒230-0074
 鶴見区北寺尾1-11-34
 TEL: 581-6479
 FAX: 582-8205
 mail: bid@t-engei.com
 http://t-engei.com/



「海と暮らす街『ヨコハマ』」(2020)

東都造園 株式会社

〒246-0026
 瀬谷区阿久和南1-29-5
 TEL: 363-0022
 FAX: 362-1646
 mail: info2@touto-zouen.co.jp
 http://www.touto-zouen.com



「浜の風」(2020)



「里のかほり」(2021)



株式会社 田澤園
 横浜市長賞 受賞

〒232-0066
 南区六ッ川4-1234
 TEL: 823-2121
 FAX: 824-4567
 mail: tzn-mail@tazawaen.co.jp
 http://www.tazawaen.co.jp/



「Spring」(2013)



株式会社 永吉緑化
 横浜市長賞 受賞

〒232-0035
 南区平楽131
 TEL: 261-8995
 FAX: 251-2612
 mail: nagayoshi@jupiter.ocn.ne.jp



田野井造園 株式会社
 みどりアップ奨励賞 受賞

〒240-0034
 保土ヶ谷区境木町112-15
 TEL: 351-8728
 FAX: 351-8729
 mail: akira@tanoizouen.co.jp
 http://www.tanoizouen.co.jp



「花時計」(2019)

表彰式会場の移り変わり



奈良造園土木 株式会社

〒222-0033
 港北区新横浜1-13-3
 TEL:473-1291
 FAX:474-2372
 mail:nzouen@circus.ocn.ne.jp
 http://narazouen.co.jp



「植物とすごす“おうちじかん”」(2022)

株式会社 日本造園

〒235-0033
 磯子区杉田4-2-18
 TEL:774-4871
 FAX:774-2008
 mail:info@nihonzouen.com
 http://www.nihonzouen.com



「赤い靴とホップステップジャンプ」(2022)



「新生～ゆずり葉のように～」(2019)

日光緑化建設 株式会社

〒235-0021
 磯子区岡村6-13-3
 TEL:761-5538
 FAX:761-6494
 mail:nikkouryokka@ar.wakwak.com



「横浜フラワーランド」(2021)

はじめ
 一造園土木 株式会社

〒221-0862
 神奈川区三枚町358-3
 TEL:374-2826
 FAX:374-2825
 mail:info@hajimezouen.co.jp

二代産業 株式会社

〒240-0045
 保土ヶ谷区川島町1498-10
 TEL:744-8097
 FAX:744-8098
 mail:nidai@wonder.ocn.ne.jp



「希望の花」(2021)

コラム 05

花壇材料の変化

花壇に使われる花苗は、園芸ブームの開花、ガーデニングの深化で種類が大きく増えました。多様な花壇のデザインの変化にともなって、立体的な花壇づくりが深化、樹木の利用、庭園づくりの技術で花壇のテーマ、主張が表現されるようになりました。





株式会社 濱田園

(公財)横浜市緑の協会
理事長賞・
市民賞 受賞

〒232-0066
南区六ッ川3-3-1
TEL:741-3215
FAX:741-3464
mail:ham@d.email.ne.jp
https://hamadaen.amebaownd.com



「希望」(2021)



株式会社 福岡造園

みどりアップ奨励賞 受賞

〒233-0012
港南区上永谷4-17-9
TEL:844-8359
FAX:844-8345
mail:info-web@fukuoka-zouen.com
http://www.fukuoka-zouen.com



「ようこそサバンナへ」(2013)



「東風」(2019)

早坂緑化 株式会社

〒221-0863
神奈川県羽沢町14-1
TEL:383-1041
FAX:383-1035
mail:t-hayasa@abox22.so-net.ne.jp



「夢を信じて」(2021)



藤沢造園 株式会社

みどりアップ奨励賞 受賞

〒222-0025
港北区篠原西町14-31
TEL:433-6221
FAX:433-6223
mail:tadashige@fujisawazoen.co.jp
http://www.fujisawazoen.co.jp



有限会社 日向山庭園

〒246-0026
瀬谷区阿久和南1-35-3
TEL:362-8669
FAX:391-2786
mail:yama@eg.ejnet.ne.jp



「花香る水辺」(2022)

富士造園 株式会社

〒230-0073
鶴見区獅子ヶ谷2-38-47
TEL:581-0352
FAX:573-4978
mail:mt.fujizouen@k3.dion.ne.jp



「五輪の花咲く」(2020)



藤造園建設 株式会社

(公財) 横浜市緑の協会
理事長賞 受賞

〒221-0851
神奈川県三ツ沢中町6-7
TEL: 322-5721
FAX: 324-3846
mail: eigyo@fujizouen.jp
http://www.fujizouen.jp



「海辺のウェディング」(2019)



株式会社 牧野造園

横浜市環境創造局長賞・
市民賞 受賞

〒224-0054
都筑区佐江戸町2257
TEL: 941-4764
FAX: 941-8774
mail: maki@makinozouen.co.jp
http://www.makinozouen.co.jp



「花のメロディー〜美しい人生よ〜」(2014)



「希望の道」(2019)

堀江造園 株式会社

〒246-0026
瀬谷区阿久和南1-21-4
TEL: 391-2605
FAX: 391-2619
mail: info@horiezouen.com
http://www.horiezouen.com



「夢に向かって」(2020)

有限会社 増田園

〒245-0014
泉区中田南1-35-21
TEL: 801-4728
FAX: 801-5585
mail: masudaen@kki.biglobe.ne.jp



有限会社 細野植産

(一社) 横浜市造園協会
会長賞 受賞

〒231-0806
中区本牧町1-110
TEL: 622-7781
FAX: 625-0397
mail: hosonosan@hkg.odn.ne.jp



「小人の家」(2021)

花壇展会場いろいろ



大通り公園



象の鼻パーク



山下公園 (海側)



株式会社
丸孝造園土木

神奈川県新聞社賞 受賞

〒241-0014
旭区市沢町703
TEL:373-1587
FAX:373-1809
mail:marukou-co@rapid.ocn.ne.jp
https://www.kabu-marukou.jp/



「憩いの花道」(2016)

株式会社 みやした園芸

〒241-0833
旭区南本宿町158
TEL:351-1224
FAX:352-1212
mail:my-engei@ninus.ocn.ne.jp



「ライフ・スタイル」(2021)



「小路」(2020)

株式会社 三橋緑化興業

〒225-0011
青葉区あざみ野1-4-3
TEL:902-7751
FAX:901-4509
mail:mitsuhashi@mitsuhashi-ryokka.co.jp
http://www.mitsuhashi-ryokka.co.jp



「和みの花壇」(2020)

株式会社 大和園

〒225-0002
青葉区美しが丘4-26-22
TEL:902-4128
FAX:902-4949
mail:yokohama@yamatoen.org
http://www.yamatoen.org



株式会社 港薬品造園

〒245-0018
泉区上飯田町2438-4
TEL:801-1447
FAX:801-1099
mail:minatoyakuhinn@minato-y.com
http://www.minato-y.com



「春光の径」(2021)

コラム 06

環境問題への意識

環境問題、気候変動、生物多様性保全への対応に関する取組も花壇デザインに現れるようになりました。山野草や地域の植生を意識したデザイン、宿根草を植え込んだナチュラルスティックガーデンと呼ばれる半自然風の花壇は、花壇づくりの新しいトレンドです。



過去の出典作品から



株式会社 横浜緑化

〒245-0066
 戸塚区俣野町828
 TEL: 851-3345
 FAX: 851-3342
 mail: y.ryokka@ceres.ocn.ne.jp



「未来へ」(2019)



「春によせて」(2012)



横浜植木 株式会社

横浜市長賞 受賞

〒232-8587
 南区唐沢15
 TEL: 262-7410
 FAX: 243-1701
 mail: zoen@yokohamaueki.co.jp
 http://www.yokohamaueki.co.jp



「みんなつながっている」(2021)



横浜緑地 株式会社

横浜市環境創造局長賞 受賞

〒235-0033
 磯子区杉田4-5-10
 TEL: 771-2242
 FAX: 771-2150
 mail: info@yokohamaryokuchi.com
 https://www.yokohamaryokuchi.co.jp/



横浜庭苑 株式会社

〒225-0015
 青葉区荏田北1-3-12
 TEL: 911-3311
 FAX: 911-3313
 mail: info@yokohamateien.co.jp
 https://yokohamateien.co.jp



「世界の」(2020)

有限会社
 ヨネヤマプラン
 テイション

〒223-0057
 港北区新羽町2582
 TEL: 531-8984
 FAX: 531-8992
 mail: zoen@yoneyama-pt.co.jp
 http://www.yoneyama-pt.co.jp



「空中さんぽ」(2020)

株式会社 緑心園

〒244-0841
 栄区長沼町294-14
 TEL: 517-4505
 FAX: 517-4502
 mail: info@ryokushinen.com
 https://www.ryokushinen.com



「ラブグリーン ラブフラワー」(2023)

株式会社
 ワールドグリーン
 メンテナンス

横浜市環境創造局長賞 受賞

〒235-0045
 磯子区洋光台3-29-6
 TEL: 771-9600
 FAX: 773-8155
 mail: wgm@minos.ocn.ne.jp



「春出水」(2022)



「港町の春景」(2020)

有限会社 緑生園

〒227-0036
 青葉区奈良町1800
 TEL: 962-3884
 FAX: 962-3965
 mail: zouen@ryokuseien.com
 http://www.ryokuseien.com



「休日」(2022)

横浜農業協同組合

横浜市長賞・市民賞 受賞

〒245-0015
 泉区中田西1-12-10
 TEL: 805-6612
 FAX: 804-7808
 mail: ml-ninaite@gkh.kn-ja.or.jp
 https://ja-yokohama.or.jp/



ワコー緑建 株式会社

〒226-0028
 緑区いふき野43-5
 TEL: 981-0864
 FAX: 981-0919
 mail: info@wakoryokuken.com
 http://www.wakoryokuken.com



「横浜千年の花庭」(2022)

コラム 07

横浜市内のオープンガーデン

横浜市が支援する公園愛護会、ハマロード・サポーターなどの地域活動で道路、駅前、公園に花が楽しめる場所が増えています。オープンガーデンは春、秋の特定の期間に個人のお庭などを公開して来場者と楽しむ活動です。毎年の花壇展の楽しみにして来場されるお客様が地域ではオープンガーデン活動の担い手となって横浜のまちを花でいっぱいにしてくれています。



第11回港北オープンガーデンberry's Garden(新横浜エリア)



仙台フェア
(2023)第40回

2027年国際園芸博覧会広報花壇

全国都市緑化フェアでの広報花壇



2027年3月から上瀬谷で開催される国際園芸博覧会をPRするために、横浜市及び(公社)2027年国際園芸博覧会協会と協力し(一社)横浜市造園協会が2022年の全国都市緑化くまもとフェアから広報花壇を設置しています。

これまで、北海道フェア、仙台フェアでも設置し、今後開催される都市でも設置する予定です。



くまもとフェア
(2022)第38回



北海道フェア
(2022)第39回

よこはま花と緑のspringフェア 花壇展 60回記念誌 1963~2023

発行年月日 令和5(2023)年12月
発行者 横浜市・一般社団法人横浜市造園協会・公益財団法人横浜市緑の協会

2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027)



EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会
International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan

テーマ：幸せを創る明日の風景

会場	神奈川県横浜市	開催期間	2027年3月19日～2027年9月26日
博覧会区域	約100ha（内、会場区域80ha）		
参加者数	1,500万人（地域連携やICT活用などの多様な参加形態を含む）	有料来場者数	1,000万人以上
資金計画	会場建設費320億円、運営費360億円		
開催者	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会		

